

# 令和3年度 学校経営計画書

岡山県立岡山芳泉高等学校

## 1 使命

- (1) 建学の精神である「気宇広大で包容力の大きな人間の育成」に基づいて、心身共に健康で世界で活躍する人材や将来の日本、郷土岡山を担う人材を育成する。
- (2) 岡山学区南部の普通科進学拠点校として、生徒一人一人の自己実現と将来の職業を見据えた進路実現を図る。
- (3) 芳泉の名を冠する教育施設や文化施設等が多く立地する地域にあって、その中核として地域との連携を図り、青少年の健全育成に努める。

## 2 校訓と教育方針

校訓	教 育 方 針
鍛練	○目標に向かって鍛練し、日々勉学に精励する人物を育てる。 ○自己を鍛え、心身共に健康で将来の社会に貢献する人物を育てる。
節度	○豊かな知識と高い教養を備え、情操豊かな節度ある人物を育てる。 ○敬愛の精神と広い心を持ち、礼節を重んじ品格ある人物を育てる。
創造	○積極的に新しい知識を取り入れ、未来を切り開く人物を育てる。 ○合理的な判断力を持ち、創造的に実践する人物を育てる。

## 3 目指す学校像

- (1) 高い教養と探究心を身に付け、一人一人の進路実現を図る学校
- (2) 学習や学校行事、部活動を通して人間力を高める学校
- (3) 人権意識が高く自他を尊重し、公共心や規範意識が高い学校
- (4) 保護者、地域住民等との連携を進め、信頼される学校
- (5) 教職員の協力体制が整い、組織が活性化している学校

## 4 育てたい人間像

- (1) 公共心や規範意識等を身に付け社会に積極的に貢献する人材
- (2) 世界で活躍するグローバル人材と地域を支えるローカル人材

## 5 現状分析

- 国際バカロレアの教育手法の研究に基づく授業改善を進め、主体的に学び深く思考するための資質・能力を伸ばしている。
- 多様な入試制度に対応する進路指導体制で生徒の進路実現を図り、県下トップクラスの合格実績を上げている。
- 広範囲から通学可能な岡山市南部に位置し、岡山学区南部の進学拠点校として「伸ばす芳泉」と高く評価されている。
- 部活動や生徒会活動も活発で高い次元で文武両道を果たし、全国レベルの実績を誇る部活動もある。
- グローバル人材育成や高大接続改革など新しい時代への変革に取り組み、専門性と指導力を高めている。
- 素直で真面目な生徒が多いので、自身の成長が実感できる評価方法の開発と積極性を伸ばす場の設定が求められる。
- 一人一人の進路実現を図る中で、将来に向けて自己を見つめ高い志を持てるよう意識付けをする必要がある。
- 広報活動の一層の充実を進めるとともに、地域との連携・協働による多様な刺激を取り入れた教育活動の展開が求められる。
- 働き方改革の視点に基づく校内組織や指導体制等の整備が必要である。
- 探究学習と各教科の横断的カリキュラム開発を継続し、持続可能な社会の創造に寄与する人材育成が求められる。

## 6 学校教育活動全体で育成したい資質・能力

- ①様々な場面での経験を振り返り、より豊かな人生を目指して行動する力
- ②対話や議論を通じ、多様な人々と協働する力
- ③先人の考えを理解し、社会との関わりを持って新しいものを創造する力

## 7 資質・能力を育成する手立て

- ①様々な場面での経験を振り返り、より豊かな人生を目指して行動する力
  - 保護者・地域等との連携による体験的な活動の充実
  - 生徒自身が自らの成長を振り返るポートフォリオの指導と活用
- ②対話や議論を通じ、多様な人々と協働する力
  - 教科スタンダードに基づくアクティブ・ラーニング型授業の実施
  - 生徒が主体的に企画・運営する教育活動の推進
- ③先人の考えを理解し、社会との関わりを持って新しいものを創造する力
  - 社会との関わりを意識した「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発
  - 収集した情報をもとに、広く考察・思考する態度の育成（新テスト対策）

※資質・能力を育成する手立てを実施するための具体的取組を各分掌で検討する。

## 8 教科で育成したい資質・能力

教科	育成したい資質・能力
国語科	①課題設定や探究方法の創造を行うために必要な、論理的思考の基礎力 ◇他者の考えを理解する力 ◇自分の考えを表現する力 ◇自分の考えの道筋を振り返り、他の作品やことがらに应用する力 ②協議に必要なコミュニケーションの基礎力 ◇共有している認識を確認し、応用し発展させる力 ◇個人の知識を他者と共有し認める力
地歴 公民科	①多面的・多角的に考え、自分なりの考えを作っていく力 ②能動的に課題に取り組み、協働的に考えを進める力 ③学んだことを活用し、解決策を考える力
数学科	①課題解決のために必要な実践力 ◇環境、状況を把握し、プライオリティを意識してセルフコントロールする力 ◇前向きに取り組める自己指導力 ②問題解決に必要なコミュニケーションの基礎力 ◇自分の考え、根拠を説明する力 ◇他者の考えを理解する力 ③課題解決のために必要な論理的思考力。 ◇教科書の公式や解法を先人の取組として正しく理解する力（道具） ◇目的、視点、見通し、手法のスマールステップを理解する力（使い方）
理科	①課題設定や探究方法の創造を行うために必要な、論理的思考の基礎力 ◇教科書を先人の取り組みとして正しく理解する力 ◇目的、視点、仮説、手法のスマールステップを理解する力 ②協議に必要なコミュニケーションの基礎力 ◇実験の「仮説」「考察」をグループで話し合う力 ◇根拠を示す力
英語科	①主体的・自律的なコミュニケーションをするために様々な場面で英語に触れるなど、自立した学習態度・方法を身に付け、4技能のバランスの取れた力を育成する。 ②多様な人々と協働するため、英語による対話や議論などのコミュニケーション活動を通じて、他者の意見を理解したり、自分の意見を相手に伝える力を育成する。 ③他者や社会と関わられるようにするために、主体的・対話的で協働的な学びを通じて自分の考えを深化させ、集団に貢献できる力を育成する。

教科	育成したい資質・能力
保健 体育科	<p>生涯にわたり健康で豊かなライフスタイルを実現するための基礎を養う。</p> <p>保健：現代社会の健康課題や自らのライフステージにおける健康・安全について、主体的に学び、健康の保持増進に向けて意思決定・行動選択ができる資質と能力を養う。</p> <p>体育：運動やスポーツを仲間と楽しく協働しながら運動技能の向上と体力の向上を図り、生涯にわたって合理的・計画的にスポーツライフを継続できる力を養う。</p>
芸術科	<p>①生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。 単に様々な活動を数多く体験するだけではなく、多様な観点から芸術に対して主的にかかわっていくことを基本としていく。</p> <p>②感性を高め、能力を伸ばす。 心の教育に関わっている教科という認識のもと、技術的な面の伸長を図るだけではなく、芸術に対するとらえ方や考え方を深化させ、自ら表現し、創造的な能力を高める。</p> <p>③芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 一定の材料・技術・方法・様式などによって美を追究・表現しようとする活動など、精神の働きによって作りだされた有形・無形の成果の総体に対する理解を深め、愛着をもち、それらを尊重する態度の育成を重視する。</p>
家庭科	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>①コミュニケーションを通して、意見の共有や議論ができる力</p> <p>②生涯を見通して生活の課題を解決する力 ◇知識や概念・スキルを統合して活用・応用ができる（使いこなす・活かす） ◇教科と生活を結びつけて考え、生活の中で実践し評価・改善することができる</p> <p>③社会に貢献しようとする力</p>
情報科	<p>①情報活用の実践力 ◇課題や目的に適した情報手段は何かを考え、主体的に選ぶことができる力</p> <p>②情報の科学的理解 ◇情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解し、特性を踏まえて情報手段を適切に選択し活用する力</p> <p>③情報社会に参画する態度 ◇社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解 ◇望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度</p>